

直近の都の調査によるひとり親当事者の状況、主な意見等

「ひとり親家庭の相談状況等に関する調査」（平成31年3月）調査結果

（1）情報とのつながり、相談の状況について

子育てや仕事に追われるひとり親が、どのように支援に関する情報を得ているのか。また、情報を得る・相談する場所として、行政窓口等をどのように活用しているのか、調査した

調査結果

- ・悩んだり困ったりしたときの解決方法として、**「ネット・SNSで情報収集」が最も多く32.7%**であった。自由意見では、「こちらから役所に行って尋ねるだけではなく、（行政側が）情報をもっと発信してほしい」「情報を届ける手段をもっと工夫してほしい」といったコメントが多く寄せられた。
- ・行政窓口等への相談について、「したことがない」と34.1%が回答した。**理由については「窓口に行く時間がない」「時間が合わない」「行くのが大変」という回答が、あわせて46.7%だった。**自由意見でも、「もっと身近に相談場所があれば良いと思う」「休日でも利用できる窓口・サービスがほしい」などの意見があった。

（2）ひとり親が抱える悩みや困りごとについて

ひとり親になった当初や現在の悩みや困りごとについて、ひとり親になった理由や男女により違いがあるのか、調査した

調査結果

- ・ひとり親になった当初に悩んだことについては、「お金に関すること」が27.1%で最も多く、次いで「子育てに関すること」が21.2%、「住まいに関すること」が17.5%だった。**「子育てに関すること」は男性の回答が多く、「お金に関すること」「住まいに関すること」は女性の割合が高かった。**
- ・現在悩んでいることでは、「お金に関すること」が29%と最も多かった。また、ここでも、男性は「子育てに関すること」と回答した割合が高かった。**女性では「住まいに関すること」と15.9%が回答しており、一方男性は住まいで悩む方はいなかった。**

（3）養育費・面会交流について

ひとり親に特有の問題である養育費や面会交流について、当事者はどのように考えているのか、また実施の状況について調査した

調査結果

- ・養育費に関して、取決めがあるが受け取っていない割合は20.8%、取決めもなく受け取っていない割合は43%であった。**自由意見でも、養育費の支援に関して、特に「養育費の確実な支払を行政に支援してほしい」という意見が多かった。**
- ・面会交流を実施していない理由を聞いたところ、「（同居親が非同居親に）会いたくない」が27.4%、「非同居親が会いたがらない」が31.9%で、**親の理由によるところが多かった。**「子供が会いたがらない」は14.5%であった。一方自由意見では、「面会交流が苦痛。動悸や恐怖でパニックになる」などの意見もあり、慎重な対応が必要であることもうかがえた。